

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	23210	電話	042-769-8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	鹿沼児童交通公園管理運営費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	63以前年度
施策名	第1施策	交通事故の無いまちづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市児童交通指導員設置要綱	交通公園設置運営要綱
-----------------	------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
信号機、踏切警報機、道路標識等を配置し、一般道路と同一形態にした公園内で、遊具(豆自動車、ミニカート、ゴーカート、自転車)を使いながら交通知識の指導を行ない、児童や幼児の交通安全知識の体得と交通事故の減少を図る。	幼児、児童
	対象数 72,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
年間利用者数 34,469人(対前年 3,124人) うち小学生の利用 18,980人(対前年 206人) (自転車7,256人 ゴーカート10,579人 ミニカート1,145人 豆自動車15,489人) 夏休み交通安全教室の開催 8月の毎週水・木・金曜日 保育園、幼稚園等の団体に対する交通安全教育の実施	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	施設利用率	各年度施設利用者数 / 前年度利用者数 × 100	多くの児童等に利用してもらうことが、交通安全知識の習得につながることから、施設利用状況を見る。	90	105	92	110	110
	小学生施設利用率	各年度小学生利用者数 / 前年度小学生利用者数 × 100	小学生の安全教室受講状況を見る。	99	118	99	105	105

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	8,718	9,292	9,205	8,976	8,900
	人員・時間数	1人・1年	1人・1年	1人・1年	1人・1年	1人・1年
	人件費	839	839	839	839	839
	その他経費					
	合計	9,557	10,131	10,044	9,815	9,739
	特定財源					
	対象数	71,000	72,000	72,000	72,000	72,000
	対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	前年度に比べると利用者が若干減少したものの、利用者を延べ人数で考えると、1,846,583人(昭和47年度～平成14年度)もの大勢の方が利用している。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	遊びながら交通安全知識を学ぶ点で、現在でも年間3万人を超える子ども達が施設を利用している。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	1日当たり平均113人の子ども達が施設を利用した。(平成14年度)
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	交通安全啓発事業という趣旨から、全ての児童・幼児が無料で利用できる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 交通安全教室等の事業の充実を図ることで、当交通公園のさらなる有効活用が可能となる。	手段	運営体制の見直しにより、事業費(人件費)の削減が可能
		削減額	911 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		秦野市(平成13年度) 交通公園 面積4,400㎡ 貸出遊具:自転車16台 遊具利用者数4,249人 1日当たり11.8人 相模原市(利用者数は平成13年度) 鹿沼児童交通公園 面積14,800㎡ 貸出遊具:自転車40台、ゴーカート15台、ミニカート6台 豆自動車10台 遊具利用者数37,593人 1日当たり122.5人
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 年間3万人以上の利用者があることから、今後も事業は継続的に実施して行くが、来園した保護者への啓発や園内での交通安全教室等の事業の充実について検討する必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

将来的には廃止を検討すること。当面は利用者の実費負担金の導入を検討すること。(貸出遊具の有料化)
--